

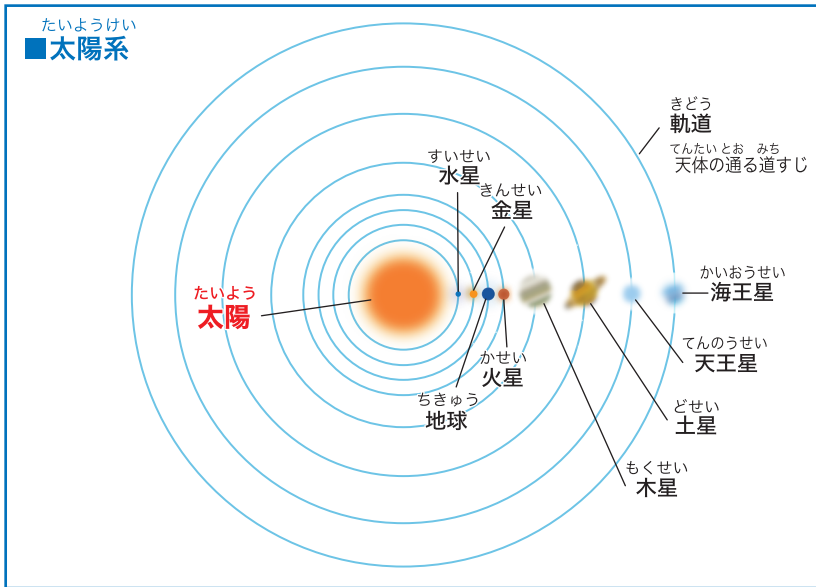


すたペンドリル 太陽の構造・動きと影・日光のはたらき 1

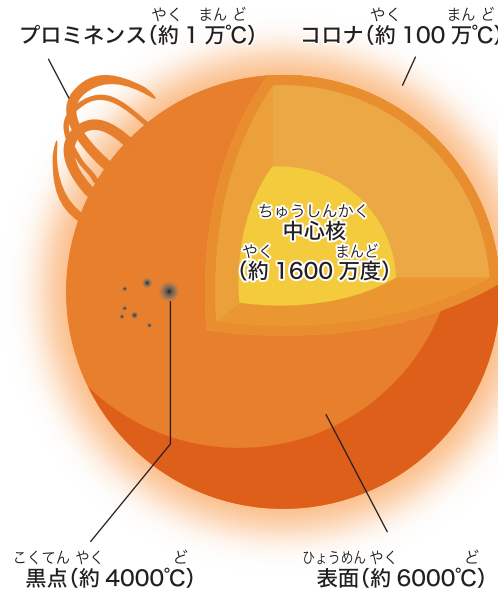


太陽と惑星

太陽は、太陽系の中心にある恒星(自ら光や熱を出す天体)です。地球を含む8つの惑星が、太陽のまわりを公転しています。



太陽の構造



約46億年前に誕生した太陽は、私たちに降りそそぐ光と熱の源です。太陽の直径は約140万kmで地球の約109倍、表面の温度は約6000°Cと高温です。表面に現れる黒点は約4000°Cで、まわりより温度が低くて暗いため、黒いはん点のように見えます。太陽のまわりはコロナ(高温のガスの層)がとり巻いていて、表面からはプロミネンスが吹き出します。また、重力によって強く圧縮された中心核は高温・高密度で、核融合が起こっています。ですが、あと50億年以上は現在のまま輝きつづけると言われています。

太陽のデータ

大きさ	直径約140万km(地球の約109倍)
体積	地球の約130万倍
重さ	地球の33万倍
距離	地球からは約1億5千万km
温度	表面は約6000度・中心部は約1600万度

太陽と地球の関係

地球は、北極と南極をむすぶ軸(地軸)を中心に、1日に1周回転(自転)しています。また、自転しながら太陽のまわりを1年で1回まわっています。地球に季節があるのは、地軸が傾いているからです。

